

一般 子育てしやすい菊川市を目指して

坪井 仲治（みどり21）



昨年の出生数は80万人を割り込み、過去最低となり、政府の予測よりも11年早いペースで少子化が進んでいる。菊川市として、安心して子育てをするための環境についての現状と今後の施策等について質問した。

Q ファミリーサポートセンターの運営等の問題点について質問した。

A 運営等の問題点としては、依頼会員の人数に対し、提供会員の人数が少なく、依頼会員が利用したい時間帯に対応できる提供会員がいないなど、全国的にも提供会員の人数不足が課題となっている。制度の仕組みや実際に活動している提供会員・利用している依頼会員の声や、保育士などの資格保持者の事前講習における講義の一部免除など、市民が興味・関心を持っていただけるよう周知の内容や方法を検討し、依頼会員の希望に沿えるよう提供会員の確保に努めていく。



Q 「子ども・子育て支援事業計画」は、令和7年度から「こども計画」として新たなステップに入る。この「こども計画」に反映すべき重点項目について質問した。

A こども大綱に示されていることも、の貧困対策、障害児支援・医療的ケア児等への支援、児童虐待防止対策といったこども施策に関する重要事項に加え、こども・若者の社会参画・意見反映などのこども施策を推進するために必要な事項を盛り込む中、県のこども計画の内容を踏まえて策定を進めていく。

一般 小中学校のトイレ等環境改善

倉部 光世（市民ネット）



学校のトイレは、児童生徒の健康面、衛生面はもちろん、安心できる場所として良好な環境を確保する必要がある。健康面に直接関連する学校トイレ等今後の環境整備について伺う。

Q トイレの洋式化等整備、特別教室のエアコンの設置等について今後の優先順位、計画の考え方は。

A 優先順位は、子どもの命を守ることに、続いて学習の保障、生活環境の改善の順にこれまで整備を進めている。今後の計画は、学校図書館等特別教室の空調設備の設置、トイレの洋式化と床の乾式化の順に進める。

Q 避難所としての利用される体育館には、オストメイト対応の多機能トイレの設置も必要。必要性、計画は。

A 今年度9月末には全ての市内小中学校の体育館のトイレ洋式化工事が完了する予定。現時点で体育館への新たな多機能的改修の計画はないがオストメイトについては今後検討していきたい。



改修前の小学校のトイレ

Q タイル張りで水洗いをするより乾式の方が清潔である。手洗い器自動水栓化、人感センサー照明の設置検討は。

A トイレの乾式化は、衛生面を踏まえると必要で実施中、自動化は停電時に使えない等課題もある為積極的に設置する計画はない。

他に、「菊川運動公園の環境整備による活用促進・ガストロノミーツーリズムへの取組」について質問しました。